



運行開始百周年記念 歴代の特急車両

# 京成

株主・投資家の皆様へ

# BUSINESS REPORT

第170期報告 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

京成電鉄株式会社

株主の皆様へ…………… 1  
事業の概況…………… 2  
連結財務諸表…………… 5  
特集…………… 8  
営業エリア案内……………10  
TOPICS……………11  
株式に関するご案内……………12  
会社の概要／株主情報……………13

## ～京成グループ理念～

### グループ経営理念

京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。

### グループ行動指針

- 安全** 私たちは、安全・安心を第一に行動します。
- 接客** 私たちは、あいさつを励行し、お客様の立場にたって行動します。
- 成長** 私たちは、絶えず自己革新し、新たな価値を創造します。
- 企業倫理** 私たちは、すべての人を大切に、法令・規則を遵守します。
- 環境** 私たちは、自然環境に配慮し、行動します。

### グループスローガン

いろんな笑顔を結びたい 京成グループ

## 株主の皆様へ



拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第170期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)の事業概況をご報告するにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、復興需要等が下支えする一方、円高、電力供給の制約に加え、失業率が高水準にあるなど、依然として厳しい状況で推移いたしました。また、本年1月以降の経済対策等を背景に緩やかな持ち直しの動きが見られました。

このような状況の中で、当社グループは、全事業にわたり積極的な営業活動を展開するとともに、より一層の経費削減に取り組むなど、業績の向上に努めてまいりました。

その結果、東日本大震災の反動もあり、全事業営業収益は2,440億5千9百万円(前期比6.0%増)となり、全事業営業利益は229億8千4百万円(前期比15.4%増)となりました。経常利益は、持分法投資利益の増加等により306億2百万円(前期比37.6%増)となり、当期純利益は219億7千3百万円(前期比63.1%増)となりました。

当社グループを取り巻く事業環境は、少子高齢化、国際情勢等の影響により、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。当社グループでは、平成25年度から新たにスタートさせております中期経営計画「E2プラン」を着実に推進し、事業の中核である運輸業の競争力・収益力をさらに強化するとともに、沿線に密着した堅実な総合生活産業を展開し、地域経済を代表する企業グループの地位を拡充してまいります。

当社グループは、グループ経営理念に基づき、「安全・安心」と、お客様に喜ばれる商品・サービスを提供し、沿線を中心とする地域の発展に寄与してまいります。また、コンプライアンス・リスク管理体制を充実させ、内部統制システムの強化に努めるとともに、常に自然環境との調和に配慮するなど企業の社会的責任の遂行に取り組んでまいります。

当社は、本年9月に千葉県市川市へ本社を移転いたします。これからもお客様第一主義を徹底し、「BMK(ベストマナー向上)推進運動」を浸透させ、選ばれる京成グループを構築してまいります。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成25年6月

代表取締役社長

三枝紀生

## 運輸業

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、高架橋等の耐震補強工事及びデジタルATS設置工事等を実施したほか、大規模工事については、墨田区内において押上線連続立体化工事を推進いたしました。

営業面では、昨年10月にダイヤ改正を行い、スカイライナーの早朝便を新設するとともに、アクセス特急の所要時間を短縮するなど、成田空港アクセスの強化を図りました。また、スカイライナー券を全国の「ファミリーマート」店舗で購入できるサービスを開始したほか、スカイライナー及び各駅等に公衆無線LANサービスを導入するなど、利便性の向上を図りました。このほか、運行開始100周年を記念した列車の運行等に加え、企画乗車券の販売や各種営業施策を実施いたしました。



成田スカイアクセス

バス事業では、東京スカイツリーの開業に伴い、墨田区内循環バス等路線の新設及び変更を実施いたしました。このほか、一般乗合バス路線においては、成田市内等で新規路線の運行を開始いたしました。高速バス路線においては、格安航空会社(LCC)の就航等に対応した「東京シャトル」等の運行を開始するとともに、東京駅～千葉市ベイエリア方面等の路線を新設いたしました。

タクシー事業では、無線業務の統合・集約化を進めるなど、利便性向上と効率化を図りました。以上の結果、営業収益は1,318億8千6百万円(前期比3.9%増)となり、営業利益は167億8千万円(前期比18.7%増)となりました。



東京駅～成田空港を結ぶ「東京シャトル (Tokyo Shuttle)」

## 流通業

百貨店業では、各種イベントを開催したほか、売場の一部リニューアルを行うなど、販売の強化に努めました。

ストア業では、リブレ京成青砥駅前店及び幕張本郷店をリニューアルオープンしたほか、コンビニエンスストアにおいては、新店効果に加え、各種営業施策の実施により堅調に推移いたしました。

しかしながら、営業収益は733億7千4百万円(前期比0.1%減)となり、営業利益は11億9百万円(前期比12.7%減)となりました。



リニューアルオープンした「リブレ京成幕張本郷店」

## 不動産業

不動産販売業では、「サングランデ公津の杜グレイス」及び「サングランデ印西牧の原ドアシティ」等の中高層住宅や「グランデカーサ公津の杜」等の戸建住宅のほか、成田市公津の杜の住宅用地を販売いたしました。

不動産賃貸業では、船橋市本町において高架下商業施設等が、また、京成船橋駅及び八広駅に近接する共同住宅等が稼働いたしました。

以上の結果、営業収益は224億8千6百万円(前期比40.0%増)となりましたが、営業利益は38億1千4百万円(前期比1.5%減)となりました。



完売した「サングランデ公津の杜グレイス」

## レジャー・サービス業

ホテル業では、京成ホテルミラマーレにおいて、開業10周年を記念した各種イベントを実施するなど、新規顧客の獲得に努めました。

旅行業では、新しい商品の企画・催行により、営業力の強化を図りました。

以上の結果、営業収益は103億8千1百万円（前期比3.2%減）となりましたが、営業利益は前期と比べ改善し2億7千2百万円となりました。



改装した「ローズルーム」(京成ホテルミラマーレ)

## 建設業

建設業では、バス車庫や分譲マンションの新築工事のほか、公共施設工事等を行いました。

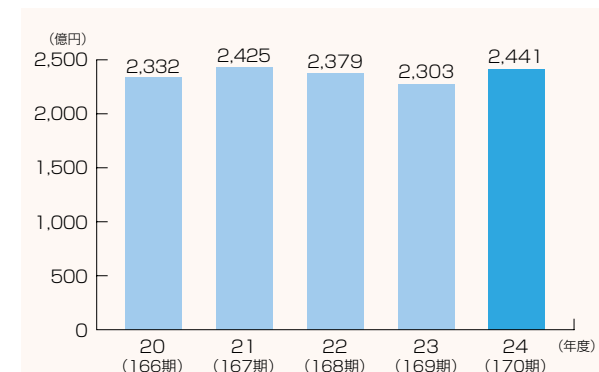
以上の結果、営業収益は201億7千万円（前期比4.4%増）となりましたが、営業利益は5億2千7百万円（前期比20.5%減）となりました。



新築した「京成バス 習志野出張所」

## 京成グループ決算ハイライト

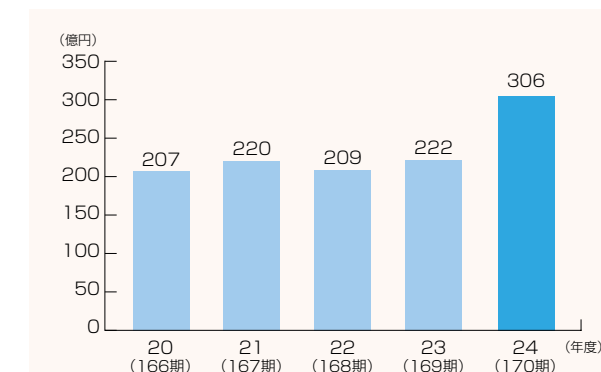
### ■営業収益



#### 決算のポイント

東日本大震災の反動もあり、営業収益は増収となりました。

### ■経常利益



#### 決算のポイント

持分法投資利益の増加等により、増益となりました。

### 連結対象会社

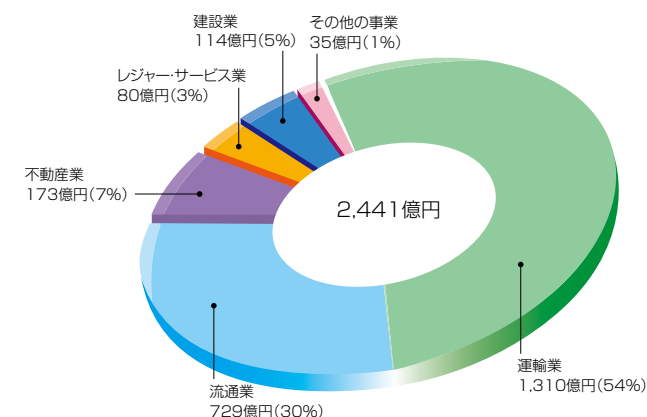
#### 連結子会社

- **運輸業**：北総鉄道(株)、千葉ニュータウン鉄道(株)、京成バス(株)、千葉交通(株)、千葉中央バス(株)、千葉海浜交通(株)、千葉内陸バス(株)、成田空港交通(株)、ちばフラワーバス(株)、ちばレインボーバス(株)、東京ベイシティ交通(株)、ちばグリーンバス(株)、京成タウンバス(株)、ちばシティバス(株)、京成トランジットバス(株)、京成バスシステム(株)、帝都自動車交通(株)、帝都自動車交通(株)(墨田G)、帝都自動車交通(株)(大森G)、市川交通自動車(株)、成田タクシー(株)、(株)千葉交タクシー、船橋交通(株)、合同タクシー(株)、西千葉タクシー(株)、かずさ交通(株)、三田下総交通(株)
- **流通業**：(株)京成ストア、(株)コミュニティー京成、(株)水戸京成百貨店、京成バラ園芸(株)、(株)ユアエルム京成
- **不動産業**：京成不動産(株)、京成ビルサービス(株)、京葉商事(株)
- **レジャー・サービス業**：(株)イウォレ京成、筑波観光鉄道(株)、京成ホテル(株)、(株)千葉京成ホテル、(株)京成エージェンシー、京成トラベルサービス(株)、京成ハーモニー(株)
- **建設業**：京成建設(株)、京成電設工業(株)
- **その他の事業**：京成車両工業(株)、京成自動車工業(株)、(株)京成保険コンサルティング、(株)京成ドライビングスクール

#### 持分法適用関連会社

- (株)オリエンタルランド、新京成電鉄(株)、関東鉄道(株)、小湊鉄道(株)、成田空港高速鉄道(株)、東京空港交通(株)

### ■セグメント別営業収益構成比 (170期営業収益構成比)



(注)セグメント別営業収益構成比は、外部顧客に対する営業収益の比率を表示しております。

連結貸借対照表の要旨

科目	単位：百万円	
	当期末 (平成25年3月31日現在)	前期末 (平成24年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	87,986	84,803
現金及び預金	28,795	26,561
分譲土地建物	14,672	19,241
その他	44,518	39,000
固定資産	653,863	640,090
有形固定資産	499,111	496,229
建物及び構築物	262,616	266,303
土地	141,913	139,821
その他	94,581	90,104
無形固定資産	11,110	11,800
投資その他の資産	143,641	132,060
投資有価証券	124,738	112,085
その他	18,902	19,975
繰延資産	133	177
資産合計	741,982	725,072

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

科目	単位：百万円	
	当期末 (平成25年3月31日現在)	前期末 (平成24年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	181,862	169,509
短期借入金	77,885	68,411
1年内償還予定の社債	10,000	16,050
その他	93,977	85,047
固定負債	345,411	364,414
社債	65,000	75,000
長期借入金	149,143	155,113
鉄道・運輸機構長期未払金	66,191	68,751
その他	65,076	65,549
負債合計	527,274	533,924
(純資産の部)		
株主資本	208,019	187,762
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	28,485	28,485
利益剰余金	144,758	124,502
自己株式	△ 2,028	△ 2,029
その他の包括利益累計額	2,850	536
その他有価証券評価差額金	2,850	684
繰延ヘッジ損益	-	△ 148
少数株主持分	3,838	2,848
純資産合計	214,708	191,148
負債純資産合計	741,982	725,072

連結損益計算書の要旨

科目	単位：百万円	
	当期 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)	前期 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)
営業収益	244,059	230,282
営業費	221,075	210,359
営業利益	22,984	19,922
営業外収益	13,935	9,595
営業外費用	6,317	7,277
経常利益	30,602	22,240
特別利益	1,754	2,958
特別損失	1,382	3,731
税金等調整前当期純利益	30,974	21,466
法人税、住民税及び事業税	7,262	4,980
法人税等調整額	697	2,786
法人税等計	7,960	7,767
少数株主利益	1,040	228
当期純利益	21,973	13,471

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

科目	単位：百万円	
	当期 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)	前期 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,599	31,184
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,276	△ 10,367
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 19,966	△ 16,903
現金及び現金同等物の増減額	2,357	3,912
現金及び現金同等物の期首残高	26,106	22,191
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	2
現金及び現金同等物の期末残高	28,464	26,106

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	36,803	28,485	124,502	△ 2,029	187,762	684	△ 148	536	2,848	191,148
当期変動額										
剰余金の配当			△ 1,717		△ 1,717					△ 1,717
当期純利益			21,973		21,973					21,973
自己株式の取得				△ 1	△ 1					△ 1
自己株式の処分			0	0	0					0
関係会社持分比率変動に伴う変動額				1	1					1
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						2,165	148	2,313	989	3,303
当期変動額合計	-	0	20,255	0	20,256	2,165	148	2,313	989	23,559
当期末残高	36,803	28,485	144,758	△ 2,028	208,019	2,850	-	2,850	3,838	214,708

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 京成グループ 中期経営計画 「E2プラン」スタート

当社グループでは、平成22年度にスタートした京成グループ長期経営計画「Evolution Plan(=Eプラン)」(平成22～33年度)を推進しておりますが、その第1ステップである中期経営計画「E1プラン」(平成22～24年度)では、各事業計画を着実に推進し、数値目標をいずれも達成することができました。

今回、新たに京成グループ中期経営計画「E2プラン」(平成25～27年度)を策定いたしましたので、その概要をご報告いたします。

## 基本方針

- 成田スカイアクセスの利便性・認知度の向上により、鉄道事業の競争力・収益力の強化を図る。
- コア事業(運輸業)を中心に引き続き堅実な事業運営を推進し、各事業分野において一定の事業成長を実現する。
- 将来に亘り安定的な事業成長を実現するため、賃貸資産の拡充を図るとともに、投資案件を選別し投資規模の適正化を推進する。
- 減価償却の範囲内での設備投資の実施を原則とすることで、フリーキャッシュフローを確保し、財務体質の強化を図る。
- グループ全体経営を重視し、グループシナジーの最大化を図る一方、M&Aや事業提携も視野に入れ、事業基盤の拡充を図る。
- 安全管理体制並びに、異常時・災害時におけるグループリスク管理体制の強化を図る。
- 京成グループ全体のブランド価値向上により、競争力を強化する。

## 数値目標

平成27年度に達成すべき数値目標(連結)

営業利益 (営業利益率)	230億円以上 (9.5%以上)
経常利益	310億円以上
有利子負債 (EBITDA倍率)	3,550億円以下 (7.7倍以下)

Eプラン数値目標(平成33年度)

営業収益	2,800億円以上
営業利益率	10.0%以上
有利子負債 (EBITDA倍率)	3,500億円以下 (7.0倍以下)

※EBITDA倍率=有利子負債÷(営業利益+減価償却費)

## 基本戦略

差別化  
戦略

収益力の  
更なる向上

- ◎グループ全社・全事業分野にわたる営業強化
- ◎京成ブランドの更なる進化による競争力強化
- ◎グループ経営資源の最有効活用によるグループシナジーの追求
- ◎バイ京成運動の積極推進
- ◎内部統制の充実

低コスト  
戦略

利益率の  
更なる向上

- ◎グループ全社・全事業分野にわたる経費削減の推進
- ◎グループ内業務の共通化・集約化によるコスト削減
- ◎グループ本社機能の強化による業務の効率化・最適化

集中化  
戦略

投資効率の  
更なる向上

- ◎京成エリア内への経営資源の集中による収益基盤の量的拡大及び質的充実
- ◎交通事業を中核とした生活関連事業への経営資源の集中

## セグメント別戦略

### 運輸業

- ◎ 成田スカイアクセスの利便性・認知度の向上
- ◎ 成田空港とこれを取り巻く環境の変化への対応
- ◎ 安全輸送の徹底とお客様サービスの更なる向上
- ◎ バス・タクシー事業における良質な乗務員の確保及び人件費の抑制
- ◎ バス事業における路線の拡充や見直し、車両配置の最適化等による競合会社への対応及び収益力強化
- ◎ バス事業における自動車整備部門の効率化推進等によるコスト削減
- ◎ タクシー事業におけるグループシェア拡大
- ◎ タクシー事業における低コスト策の実施による利益体質の構築



### 流通業

- ◎ ストア業における計画的な出退店及び店舗集客力の強化による収益確保
- ◎ 百貨店業における地域でのブランド力を活かした営業展開と販売力強化
- ◎ ショッピングセンター業におけるリーシング力の強化とテナントミックスの最適化による収益確保
- ◎ コンビニエンスストア業における積極的な店舗新設・取得による収益拡大
- ◎ 園芸業における栽培技術力を活かした独自性の高い商品の開発と営業力強化



ベルサイユのばら(京成バラ園芸)

### 不動産業

- ◎ 不動産賃貸資産の拡充・稼働物件新規取得による安定利益の確保
- ◎ 効率的な開発計画の進捗(新規賃貸資産の早期稼働、既存賃貸資産の更新)による収益拡大
- ◎ グループ会社資産の有効活用の推進
- ◎ 不動産販売業における商品企画力並びに販売力の強化による収益確保
- ◎ 賃貸、販売以外の収益拡大



押上本社跡地開発

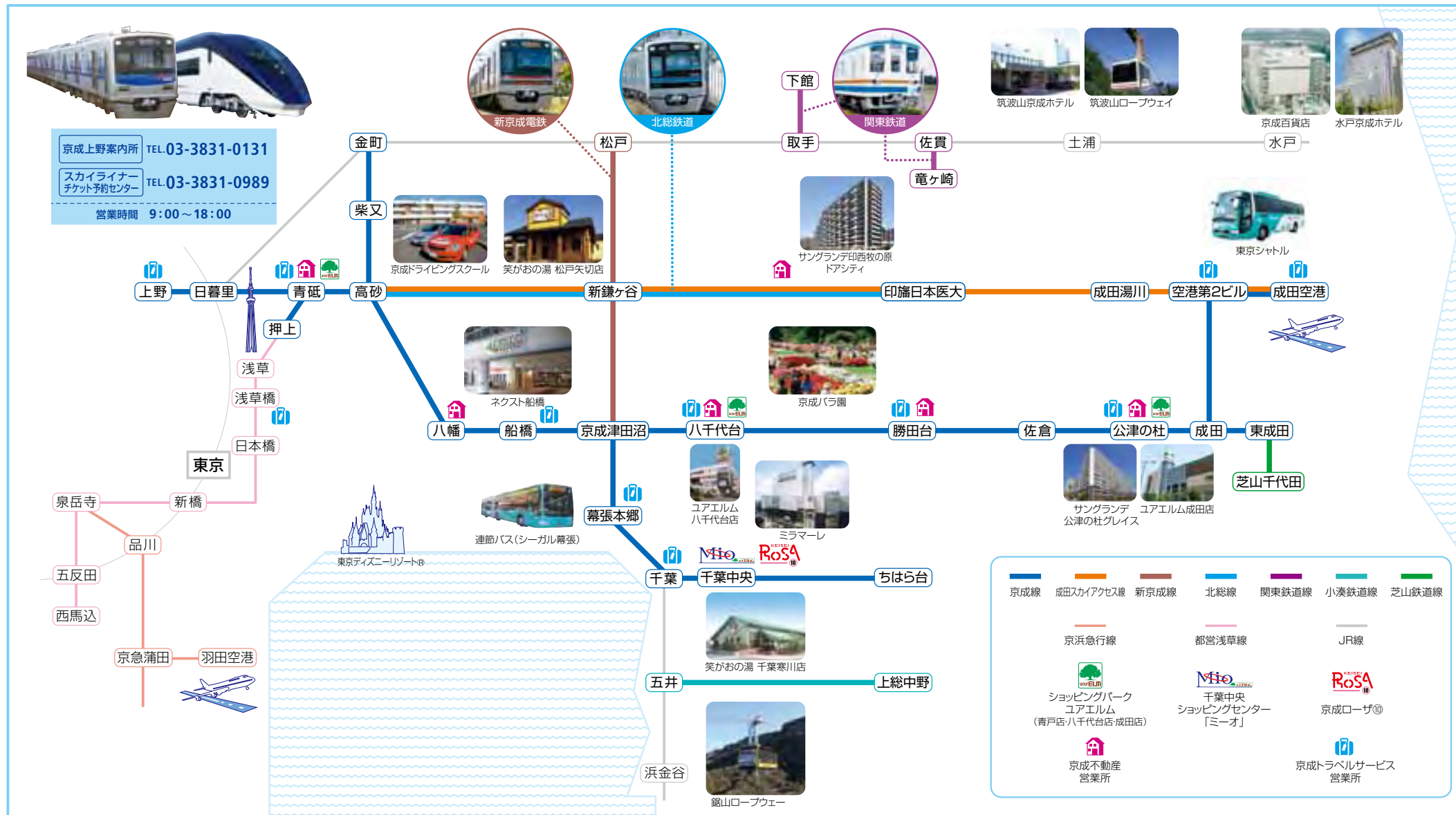
### レジャー・サービス業

- ◎ ホテル業における付加価値の高いサービスの提供とコスト削減による利益確保
- ◎ 旅行業における外販・店舗部門の収支改善
- ◎ 飲食業における収益力強化と運営ノウハウの向上
- ◎ 広告代理業における効率的な広告展開及びサービススキルの向上による収益力強化



### 建設業・その他の事業

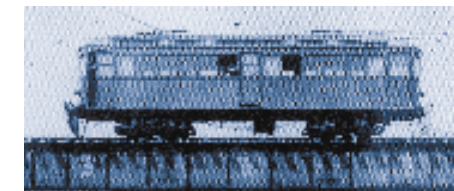
- ◎ 建設業における競争力の強化と新規顧客の拡充
- ◎ 保険代理業、鉄道車両整備業、自動車整備業におけるグループ内シナジーの強化
- ◎ 特殊自動車製造業、自動車教習所業における競争力強化による収益拡大



TOPICS

京成電鉄 運行開始100周年  
 成田山の参詣電車に始まり、  
 成田空港輸送を支える鉄道に発展!

京成電鉄は大正元年の運行開始以来、平成24年11月で100周年を迎えました。当初は京成電気軌道としてスタートし、成田山への参詣客の輸送を行いました。その後、日本初となる地下鉄との相互乗り入れや、世界への玄関である成田空港への輸送を担う交通機関へと発展してまいりました。



中川橋梁を渡る1形 (大正元年) 白土貞夫氏所蔵



夜間の改軌工事 (昭和34年)



押上~浅草橋間の開通に伴う相互乗り入れ開始 (昭和35年)



開港を祝う飾り付けで華やか成田空港駅正面 (現在の東成田駅 昭和53年)

特別口座からの振替について

平成21年1月5日から株券の電子化が実施されたことにより、当社を含む上場企業の株券が廃止されております。電子化以降もお手元に株券をお持ちの株主様の株式は、当社が三菱UFJ信託銀行に開設いたしました「特別口座」にて管理されております。

「特別口座」に記録された株式に関しましては、配当金や株主優待を受ける権利など株主様の基本的な権利に支障はございませんが、売却に時間を要するなどの不都合が生じる場合がございますので、**ご本人名義の証券口座への振替**をご検討くださいますようお願い申し上げます。

特別口座に関するお手続きの内容につきましては、以下までお問い合わせください。

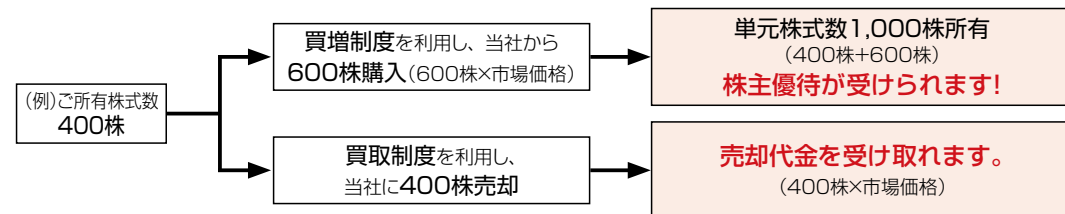
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社  
☎0120-232-711 (通話料無料)

単元未満株式の買増制度・買取制度について

当社の単元株式数である1,000株に満たない株式(単元未満株式)につきましては、株主総会における議決権がなく、株式市場で売買できないなどの制約がございます。

当社では、単元未満株式をお持ちの株主様が、1,000株に足りない数の株式を市場価格にて買増していただける制度(買増制度)及び単元未満株式を当社へ売却する制度(買取制度)を設けておりますので、ぜひご利用をご検討ください。



買増制度・買取制度に関するお手続きの内容につきましては、以下までお問い合わせください。

証券会社にてご所有の株主様

各証券会社

特別口座に記録された株主様

三菱UFJ信託銀行株式会社  
☎0120-232-711 (通話料無料)

会社の概要(平成25年3月31日現在)

創 立	明治42年6月30日
本 社	東京都墨田区押上一丁目10番3号 〒131-8555 03-3621-2242(総務人事部総務課)
資 本 金	36,803,841,088円
発行済株式の総数	344,822,371株
主な事業内容	鉄道による一般運輸業/土地・建物の売買及び賃貸業
営 業 キ 口	鉄道152.3km
車 両 数	鉄道客車594両
駅 数	69駅
従 業 員 数	1,706名

取締役及び監査役(平成25年3月31日現在)

代表取締役会長	花田 力	取締役	齋藤 貢
代表取締役社長	三枝 紀生	取締役	小林 敏也
専務取締役	神子田健博	取締役	佐藤 賢治
専務取締役	大室 健	取締役	眞下 幸人
常務取締役	宮田 弘幸	取締役	松上英一郎
常務取締役	平田憲一郎	常勤監査役	村岡 隆司
常務取締役	酒寄 博司	常勤監査役	増田 格
取締役	金子賢太郎	監査役	松野 信也
取締役	米川 公誠	監査役	上西京一郎
取締役	松村 修	監査役	小林 研一

株主メモ

事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日
期 末 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	3月31日
中 間 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 名 簿 管 理 人 特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎0120-232-711(通話料無料)
上 場 取 引 所	東京証券取引所(第1部)
公 告 の 方 法	電子公告により行う

※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。従来同封いたしておりました当社専用の「配当金振込指定書」は、同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。



## 株主優待乗車証発行基準

ご所有株式数		株主優待乗車証の方式	発行枚数 (6か月につき)	継続ご所有追加発行枚数
1,000株以上	5,000株未満	回数券式(電車) 1枚1乗車(片道)有効	4枚	10,000株以上の各ご所有株式数 を3年以上継続してご所有の場合
5,000株以上	10,000株未満	〃	10枚	
10,000株以上	20,000株未満	〃	30枚	回数券式(電車) プラス 6枚
20,000株以上	35,000株未満	〃	60枚	〃 プラス 6枚
35,000株以上	50,000株未満	定期券式(電車)	1枚	〃 プラス 14枚
50,000株以上		定期券式(電車・バス)	1枚	〃 プラス 14枚



- (注) 1. 上記の株主優待乗車証は、当社線\*でご利用いただけます。また、ご所有株式50,000株以上の株主様に発行する株主優待乗車証(電車・バス)は、当社線\*及び京成バス(株)の路線バス(高速バス、コミュニティバス、深夜急行バス、貸切バス等を除く。)でご利用いただけます。  
 ※北総線各駅(新柴又駅~印旛日本医大駅間)では、株主優待乗車証はご利用になれませんので、北総線区間の運賃を別途お支払いください。
2. スカイライナー等にご乗車の際は、別途ライナー券をお求めください。また、深夜バスにご乗車の際は割増分の運賃をお支払いください。
3. 継続ご所有追加発行は、過去3年間(平成25年5月送付分の場合、平成22年3月31日以降)すべての株主優待権利確定日(9月30日・3月31日)において、10,000株以上を継続して所有し、かつ株主番号または氏名・住所が継続して同一である株主様に対し、その期間の権利確定日に所有していた最少株式数に応じて発行いたします。(相続により名義人の方が変更となった場合は対象となりません。)
4. 株主優待乗車証は再発行いたしません(定期券式の株主優待乗車証をPASMOに移し替えた後、紛失または障害により再発行する場合を除く。)
5. 他の交通機関への振替輸送のお取扱いはいたしません。

## グループ会社優待券

1,000株以上ご所有の株主様に発行

京成ホテル(水戸)・京成ホテルミラマール	宿泊料金の20%割引・レストラン飲食料金の10%割引	優待券枚数 (両施設共通)	8枚
筑波山京成ホテル	<b>拡充</b> 宿泊料金の15%割引	優待券枚数	3枚
筑波山ロープウェイ・ケーブルカー	<b>拡充</b> 乗車料金20%割引	優待券枚数	4枚
鋸山ロープウェイ	<b>拡充</b> 乗車料金20%割引	優待券枚数	4枚
京成トラベル	「メイト」(国内)5%・「ホリデイ」(海外)5%割引 <small>※その他のパック旅行国内3%・海外3%割引</small>	優待券枚数	4枚
京成バスシステム	旅行代金の500円割引	優待券枚数	4枚
千葉交通旅行社	「ドリームツアー」旅行代金の5%割引	優待券枚数	4枚
千葉中央バス	<b>新規</b> 「ふれあいツアー」旅行代金の500円割引	優待券枚数	4枚
和風ファミリーレストラン「京成友膳」	飲食料金の20%割引	優待券枚数	5枚
京成ローザ <sup>®</sup>	映画館大人入場料金の800円割引	優待券枚数	5枚
リブレ京成	お買物代金2,000円ごとに100円割引	優待券枚数	20枚
京成百貨店	<b>新規</b> 専用のWebサイトでの商品優待販売		
京成フラワー	1件2,000円以上のお買物の場合10%割引	優待券枚数	5枚
京成バラ園「ローズガーデン」	入場料金(当日券)の50%割引	優待券枚数	6枚
京成バラ園「ガーデンセンター」	お買物代金5,250円以上で10%割引	優待券枚数	4枚
京成不動産	不動産売買仲介手数料の10%割引	優待券枚数	1枚
京成不動産	リフォーム工事代金の5%割引	優待券枚数	1枚
京成ドライビングスクール	入学金割引	優待券枚数	2枚
成田自動車教習所	入学金割引(普通車)	優待券枚数	2枚
西柏自動車教習所	入学金割引(普通車・中型車・二輪車)	優待券枚数	2枚
帝都バイクショップ	車検整備コース料金5,000円割引 自動車飯金・塗装代金の10%割引	優待券枚数	2枚
JALイービーシー	<b>拡充</b> 空港宅配通常料金より1個につき300円割引 <small>※成田・中部・関西・羽田(国際線ターミナル内)の各空港</small>	優待券枚数	5枚
JALイービーシー	携帯電話レンタル料通常料金の20%割引・ 通話料通常料金の10%割引 <small>※成田・中部・関西・羽田(国際線ターミナル内)の各空港</small>	優待券枚数	4枚
スーパー銭湯「笑がおの湯」	入浴料50%割引	優待券枚数	10枚

(有効期限は、優待券に記載のとおりです。)



本誌は再生紙、植物油インキを使用しています。